

	秋田大学 保健系分野（看護学・医療技術学、学際・特定）
学部・研究科名	<p>医学部保健学科</p> <p>看護学専攻（第1年次：70名、第3年次：10名）</p> <p>理学療法学専攻（第1年次：18名、第3年次：2名）</p> <p>作業療法学専攻（第1年次：18名、第3年次：2名）</p> <p>医学系研究科保健学専攻（M：12名、D：3名）</p>
沿革・設置目的	<p>秋田大学医学部附属看護学校を経て秋田大学医療技術短期大学部が設置された後、平成14年看護学、理学療法学、作業療法学に関する教育・研究を行うことを目的とした医学部保健学科として設置された。</p> <p>昭和24年（1949年） 秋田大学設置</p> <p>昭和53年（1978年） 医学部附属看護学校設置</p> <p><u>平成14年（2002年） 医学部保健学科設置</u></p> <p>平成16年（2004年） 国立大学法人に移行</p> <p>平成19年（2007年） 大学院医学系研究科保健学専攻（博士前期課程）設置（平成21年（2009年）に博士後期課程を設置）</p>
強みや特色などの役割	<p>○ 秋田大学の理念等に基づき、豊かな人間性、柔軟な適応能力と課題探求・問題解決能力を養い、健康科学に対する十分な理解をもち、超高齢社会における地域包括ケア及び介護予防に関する実践ができる人材を育成する。</p> <p>○ 緩和ケアの充実に向けたがん看護専門看護師の育成や高齢者ケア及びリハビリテーション実践のための技術開発教育、研究を推進し、超高齢社会で必要とされるネットワーク構築等の展開において、それぞれの専門分野でリーダー的に活躍できる人材の育成を行い、秋田県が直面する医療問題に貢献する。</p> <p>○ 女性・小児の健康課題及び高齢者の生活機能向上に関する研究を推進し、地域の健康課題を解決できる人材を育成する。将来的には、大学院博士課程においてグローバルな保健人材養成を目指す。</p>